

優秀賞

## おいしいお肉

静岡県 静岡市立清水庵原小学校三年 白井理仁

ぼくはあまりお肉が好きではありませんでした。なぜかと言うと、たくさんかまなくてはならないのみこむまでに時間がかかるからです。サッカーをやっているので、母はよく肉料理を作ってくれますが、つい、

「え、今日もお肉？」  
と、言っていました。ところが、この間の夜ごはんに冷しゃぶが出た日、一口、ぶた肉を食べてみると、

「あまい！やわらかい！おいしい！」  
と、思わず口から言葉が出てしまいました。ぼくは、こんなにおいしいお肉があるんだととてもおどろきました。ぼくはそのお肉のおいしさに感動しました。

そして、そのお肉に感動したことがもう一つあります。それは、そのお肉がT E A豚という名前のお肉で、ぼくが住んでいる町で育った豚肉だったとい

うことです。自分が生まれて育った町の中で、こんなにおいしいお肉を作っているんだ！とうれしい気持ちになりました。

T E A豚は静岡産のお茶を飲み水にして育てられている豚です。母は地元の安心で安全なおいしいお肉を食べさせたいと、このお肉を買って、作ってくれたようです。T E A豚を知ってから、スーパーでもよく見かけるようになりました。学校の給食にもT E A豚を使ったメニューがあったり、なんだか人氣になってきています。T E A豚の冷しゃぶはポンずやごまだれで食べてもおいしいし、清水のう家の人を作ったモロヘイヤやオクラをまいて食べてもおいしくて、ぼくのお気に入りのメニューです。肉料理が少し好きになりました。

ぼくが住んでいる町は山も海も近くて、お茶やみかん、いちご、しらす、ツナ、桜えびが有名だけれ

ど、もう一つ自分の町の自まん品を見つけたみたいでワクワクしたし、自ぜんや作物にめぐまれているという、町の良いところを感じる事ができました。

ぼくが小学校に入るころから、コロナウイルスがはやったり、世界では戦そうをしている国もニュースで見ます。さらに、天気の様子もおかしくて、あつすぎたり、急にひどい雨がふることもあります。そんな中で、朝、昼、夜とごはんが食べられること、おいしくて、あたたかい食事ができることはとてもありがたいことだとぼくは思います。お米や野菜、豚や牛、にわ鳥などを育ててくれる人、魚をとってくれる人、トラックではこんでくれる人、お店の人、そして作ってくれる人、たくさんの人へのありがとうの感しゃの気持ちをおすれないようにしたいです。地いきで作られた新せんなお肉や野菜を食べられることはとてもすばらしいのだと気づくことができました。

この体けんからぼくはますます食事の時間が楽しみです。今日も感しゃして、

「いただきます。」

「ごちそうさまでした。」

